

資料7-3

7 医療に要する費用医療費の見通し

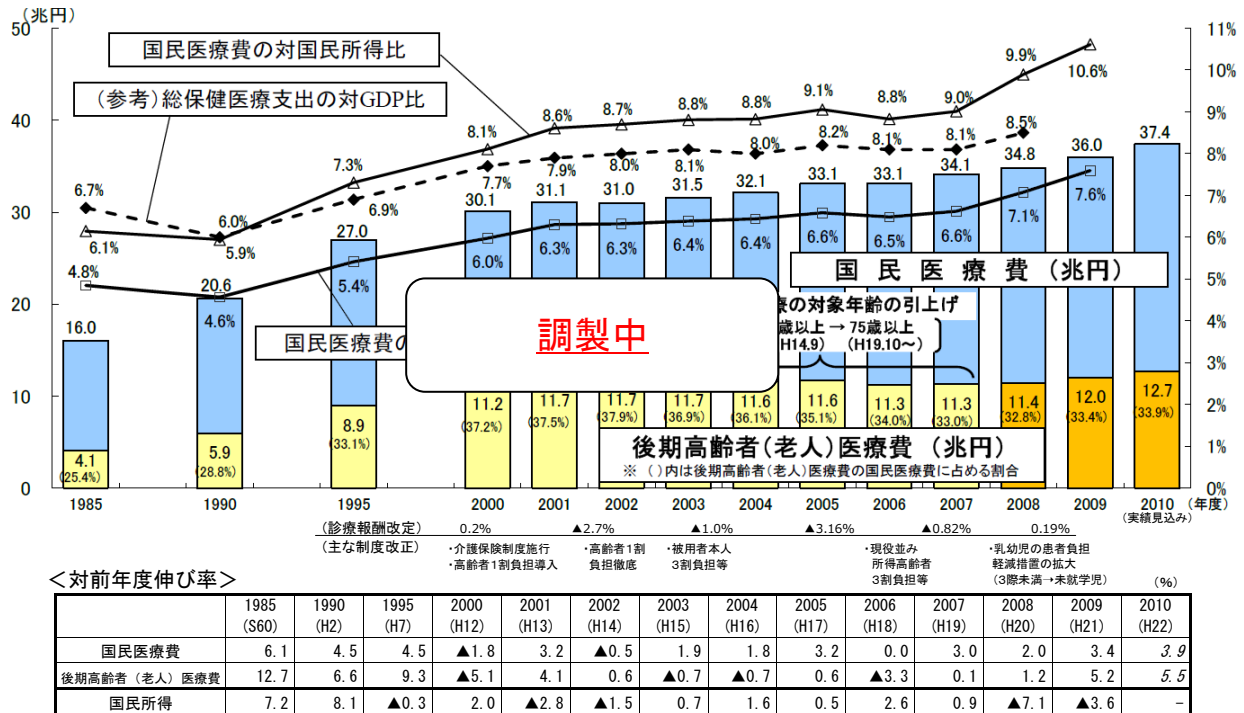
(1) 国民医療費

○ 国民が医療機関などで病気やけがの治療にかかった費用の総額を表す国民医療費は、平成22年度は総額37,442.4兆円であり、前年度と比べると約1,41.7兆円、3.93.8%の増加となっています（図表2-38）。

○ 近年の医療費の伸び率は、患者負担等の見直し等の制度改正のない年度を見ると、「高齢化」によりおおむね年1.5%前後の伸び、「医療の高度化等」によりおおむね年1%台から2%台の伸びを示しており、この2つの主要因により、おおむね3%台の伸びとなっています。

○ なお、平成22年度の後期高齢者医療費<sup>17</sup>は、約12.7兆円であり、国民医療費の33.9%を占めています（図表2-38）。

(図表2-38) 医療費の動向



出典：厚生労働省「平成22年度医療費の動向（国民医療費、老人医療費の動向）」

○ また、診療種類ごとの構成割合を見た場合、医科診療医療費及び歯科診療医療費は低減傾向にありますが、一方で薬局調剤医療費は増加傾向となっています（図表2-39）。

(図表2-39) 診療種類ごとの構成割合

診療種類	平成20年度	21	22	23	24	25	26	27
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
医科診療医療費	73.1	72.8	72.7	72.1	72.2	71.8	71.7	70.9
入院医療費	36.8	36.8	37.7	37.3	37.6	37.4	37.4	36.8
入院外医療費	36.3	36.0	35.1	34.8	34.6	34.4	34.3	34.2
歯科診療医療費	7.4	7.1	7.0	6.9	6.9	6.8	6.8	6.7
薬局調剤医療費	15.5	16.2	16.4	17.2	17.1	17.8	17.9	18.8
その他	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6

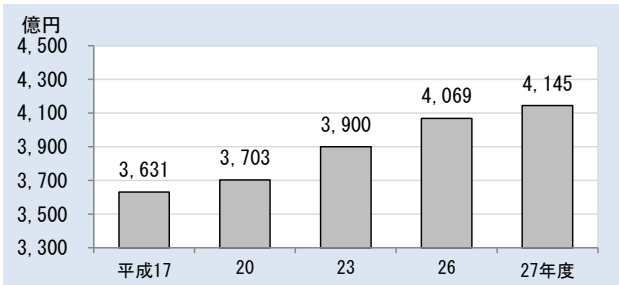
資料：厚生労働省「平成27年度国民医療費」

<sup>17</sup> 後期高齢者医療費：75歳以上（一定以上の障害認定を受けた者は65歳以上）の者を被保険者とする後期高齢者医療制度に係る医療費のことです。

(2) 本県の医療費の現状

- 本県の都道府県別国民医療費は、平成17年度から増加しており、平成27年度には総額4,145億円となり、この間に514億円増加しています(図表2-394)。

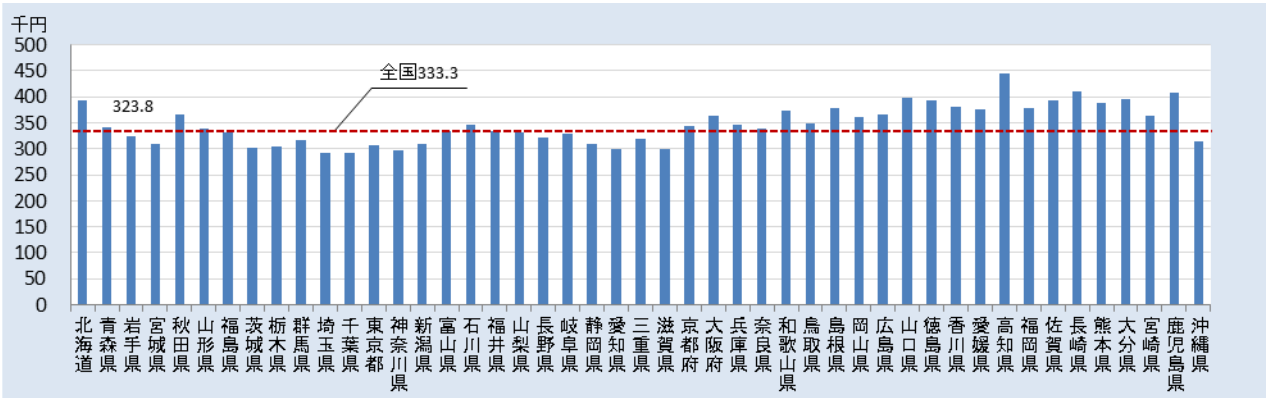
(図表 2-394) 本県における都道府県医療費の推移



資料：厚生労働省「国民医療費」

- 平成2027年度の本県における人口1人当たりの国民医療費は274324千円(低い方から全国4916位)で、全国値273333千円に比べて49千円高くなっており、東北6県の中では2番目に低くなっています(図表2-401)。

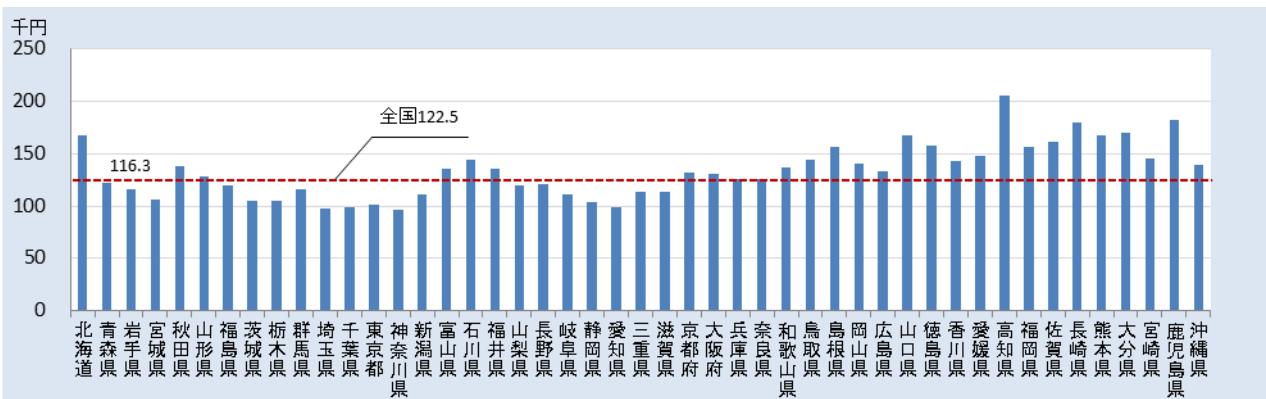
(図表2-401) 人口1人当たり都道府県別国民医療費の都道府県比較



資料：厚生労働省「平成2027年度国民医療費」

- 平成2027年度の本県における人口1人当たりの国民医療費(入院)は103116千円(低い方から全国4914位)で、全国値100122千円に比べて36千円高く、東北6県では2番目に低くなっています(図表2-412)。

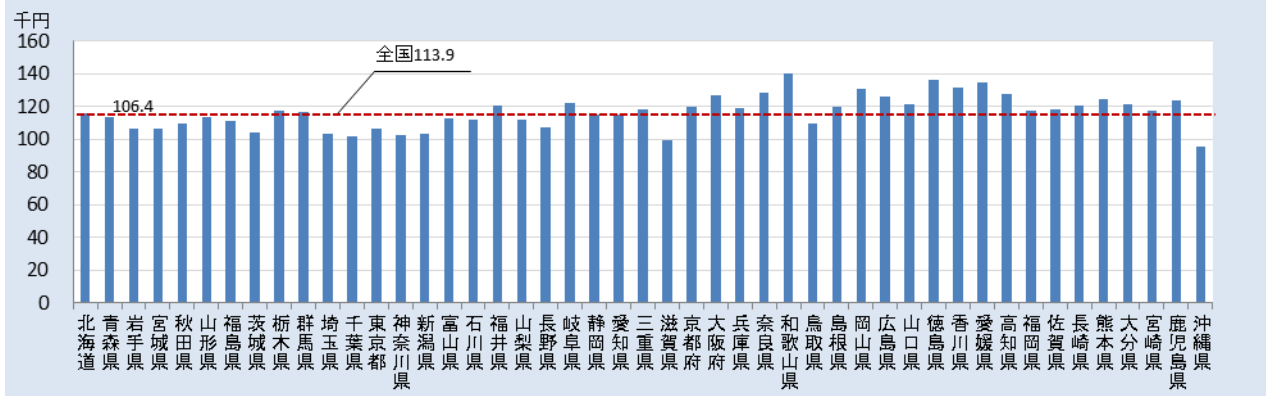
(図表2-412) 人口1人当たり都道府県別国民医療費(入院)の都道府県比較



資料：厚生労働省「平成2027年度国民医療費」

- 平成2027年度の本県における人口1人当たりの国民医療費（入院外）は95106千円（低い方から全国8位）で、全国平均103114千円に比べて8千円低く、東北6県では最も低くなっています（図表2-4243）。

（図表2-4243）人口1人当たり都道府県別国民医療費（入院外）の都道府県比較

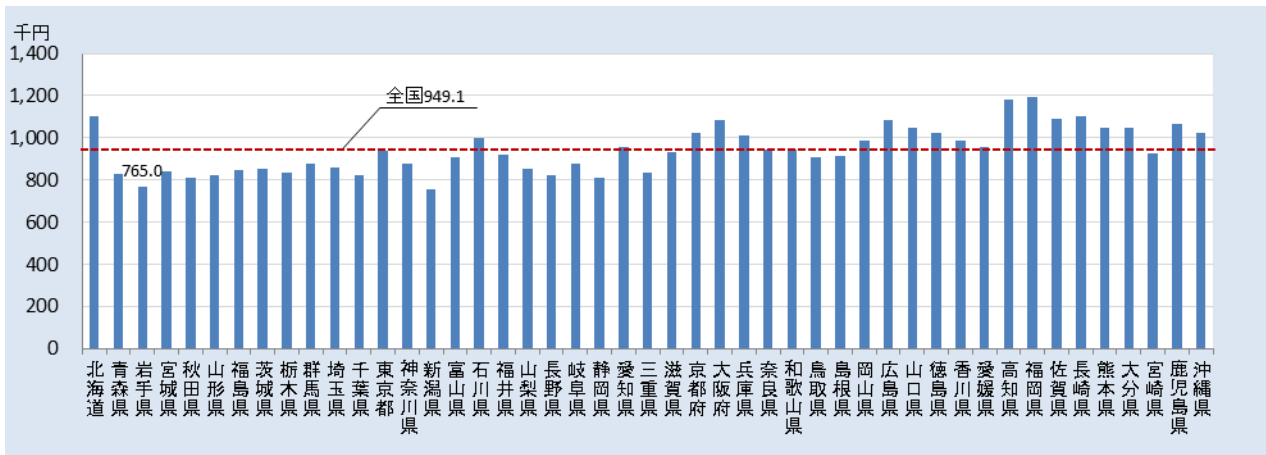


資料：厚生労働省「平成2027年度国民医療費」

### （3）本県の後期高齢者医療費の動向

- 本県の平成2027年度の後期高齢者医療費は1,2191,598億円で、本県の都道府県別国民医療費3,7034,145億円の32.938.6%を占めており、全国値29.835.7%と比べると国民医療費に占める比率は高くなっています。
- また、平成2027年度の人口1人当たりの後期高齢者医療費は約656765千円であり、本県の人口1人当たりの国民医療費274333千円の約2.42.3倍となっています（図表2-4344）。
- 全国との比較では、本県の人口1人当たりの後期高齢者医療費は、全国値786949千円を下回り、低い方から全国3.2位、東北6県の中では最も低くなっています（図表2-4344）。

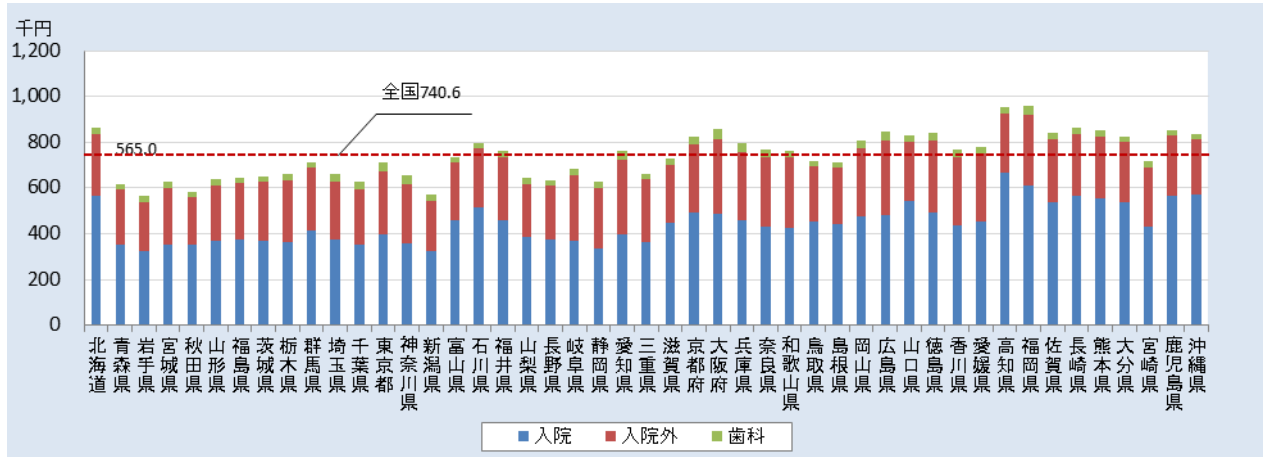
（図表2-4344）人口1人当たり後期高齢者医療費の都道府県比較



資料：厚生労働省「平成2027年度後期高齢者医療事業年報」

- ~~また~~、1人当たりの後期高齢者医療費を入院、入院外及び歯科の別に比較すると、本県はいずれにおいても全国平均を下回っており、入院は全国で最も低くなっています（図表2-4445）。

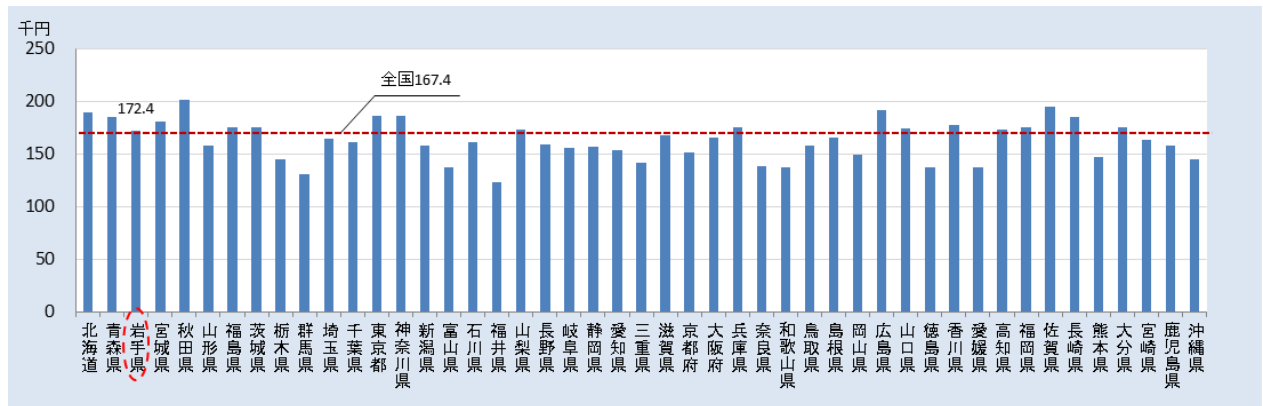
（図表2-4445）人口1人当たり後期高齢者医療費（入院・入院外・歯科）の都道府県比較



資料：厚生労働省「平成2027年度後期高齢者医療事業年報」

- 一方で、1人当たりの後期高齢者医療費（調剤）は172千円（高い方から全国19位）で、全国平均167千円に比べて5千円高く、東北6県では低い方から2番目となっています（図表2-46）。

（図表2-46）人口1人当たり後期高齢者医療費（調剤）の都道府県比較

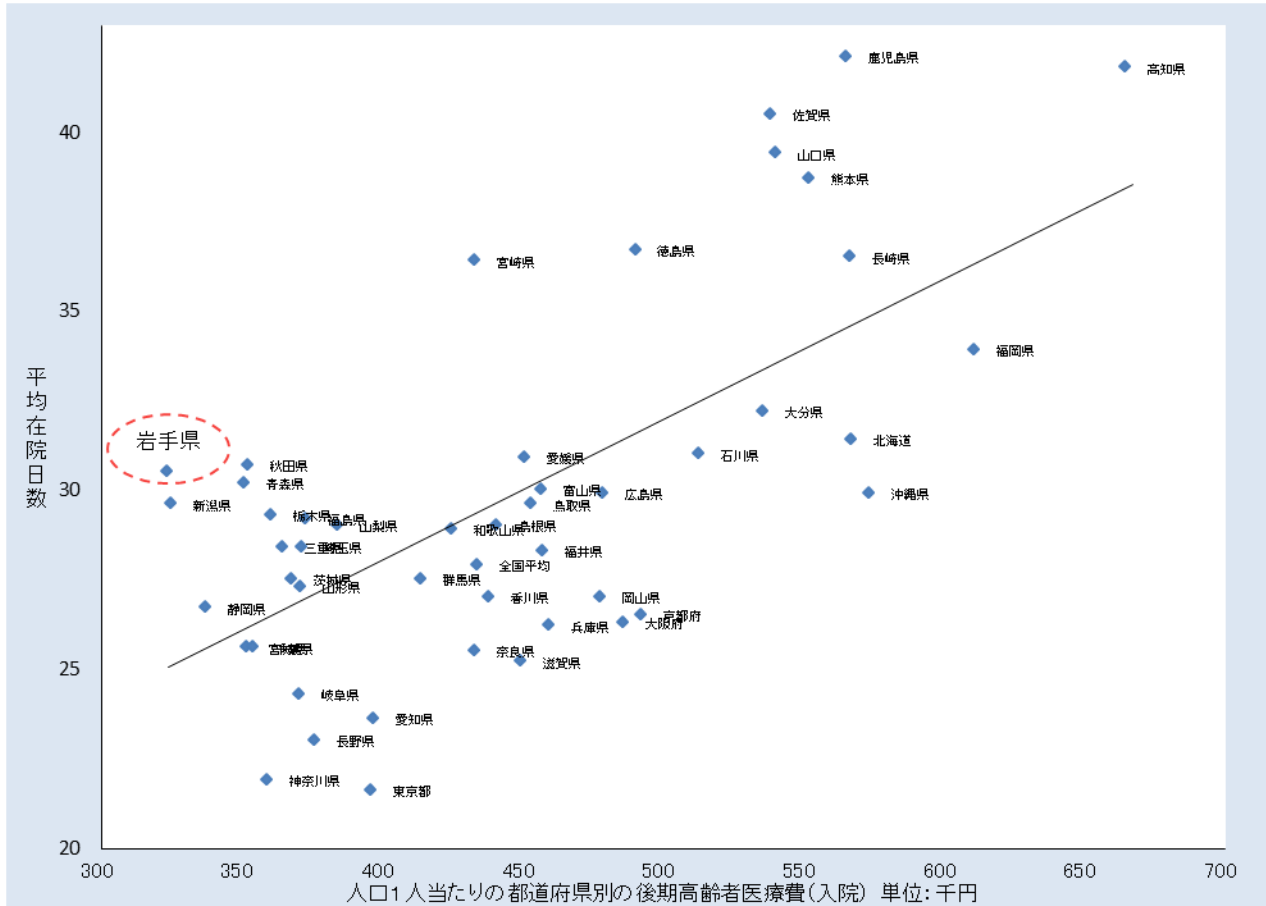


資料：厚生労働省「平成27年度後期高齢者医療事業年報」

（4）平均在院日数と後期高齢者医療費（入院）の相関関係

- 都道府県別の後期高齢者医療費（入院）と平均在院日数の関係を見ると、平均在院日数が長くなるほど、1人当たりの都道府県別の後期高齢者医療費（入院）が高くなる傾向がみられます（図表2-4547）。

(図表2-45) 平均在院日数と人口1人当たりの都道府県別の後期高齢者医療費（入院）の相関

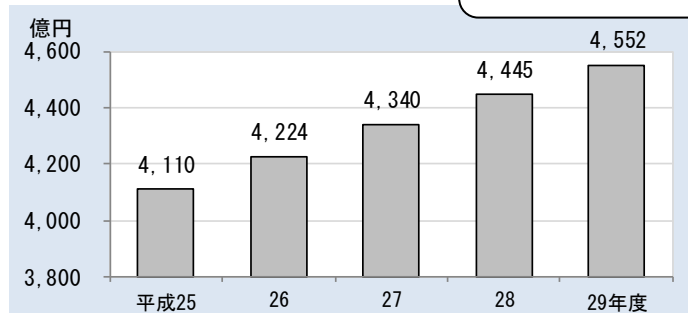


資料：厚生労働省「平成2027年病院報告」、「平成2027年度後期高齢者医療事業年報」

## (5) 本県の医療費の見通し

- 本県の医療費は、国から示された都道府県医療費の将来推計ツールを用いて推計すると、平成29年度には、平成25年度と比べ約10.8%増加し、4,552億円になるものと見込まれます(図表2-46)。

(図表 2-46) 本県における将来医療



調製中

備考) 本推計による医療費は、各都道府県における医療費の標準的な将来推計ができるよう、厚生労働省から提供されたツールを用いた推計値である。なお、「(1) 国民医療費」から「(4) 平均在院日数と後期高齢者医療費(入院)の相関関係」に記載している数値や図表は、厚生労働省の統計調査の実数値に基づき記載、作成したものである。